

2020年度 事業報告書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(敬称略)

第1 事業の状況

1 「公益目的事業」(公1)の実施状況

(1) 鑑賞会事業—芸術文化に関する鑑賞会の開催 (定款第4条第1項)

	事業収入なし
鑑賞会事業支出(予算)	2,225,000円
鑑賞会事業支出(実績)	812,253円

A 「音楽鑑賞会」の開催

主催・共催ともに予定していた以下のコンサート開催は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためすべて次年度に延期した。

- ① **【道銀文化財団 ARTIST BANK 2020 北海道銀行本店ロビーコンサート】**
北海道銀行本店ロビーにおいて、北海道を代表する芸術家の鑑賞会シリーズとしてコンサートを1回開催予定したが、2021年度以降に延期。(主催)
- ② **【道銀文化財団 CLASSIC ♪FAN #3・4 北海道銀行本店ロビーコンサート】**
北海道銀行本店ロビーにおいて、現在北海道で精力的に活動する中堅音楽家による、クラシックファン拡大を目的とした「オトナのためのコンサート」を2回開催予定したが、2回とも中止。(主催)
- ③ **【Art Ensemble #12～Concert～ 北海道立函館美術館コンサート】**
北海道立函館美術館において、道南地方ゆかりの若手音楽家によるコンサートを1回開催予定は、出演者の公募と選考のみ実施。(主催)
- ④ **【Art Ensemble #13～Concert～ 北海道立近代美術館コンサート】**
北海道立近代美術館において、北海道ゆかりの若手音楽家によるコンサートを2回開催予定は、出演者の公募と選考のみ実施。(主催)
- ⑤ **【しりべしミュージアムロード・コンサート 2020】**
しりべしミュージアムロードに加盟する後志地区5美術館ロビー等において、北海道ゆかりの音楽家によるコンサートを計5回開催する予定は、出演者の公募と選考のみ実施。
(共催/実行委員会)

B 「美術鑑賞会」の開催

① 【道銀文化財団 ARTIST BANK 2020 北海道銀行本店ロビー展】

北海道銀行本店ロビーにおいて、北海道を代表する芸術家の鑑賞会シリーズとしての美術展は会場空間に余裕があり、新型コロナウイルスの感染リスクが低いと判断し1回開催した。(主催)

企画名：渡辺行夫の乖離する知覚の意味づけ展

会 期：2020年8月17日(月)～10月16日(金) 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部1階ロビー

出展者：渡辺行夫(造形作家)

入場料：無料

内 容：北海道の美術界を牽引してきた美術家を招いた。

第3回目となる今回は、北海道を代表する彫刻家(石彫)として世界的にも著名な渡辺行夫氏が立体造形作品によるインスタレーション展を開催した。コロナ禍にあつて数々のイベントが中止される中、営業を続ける銀行ロビーにおいて芸術鑑賞の機会を設けることができたことは意義が大きい。自粛の続く道民の生活に芸術に触れる新鮮な感動とひとときの癒しを与える良い鑑賞機会となった。

② 【道銀文化財団企画展 ■CUBE■2020】

「らいらっく・ぎやらりい」において、北海道ゆかりの芸術家による美術展を1回開催した。(主催)

企画名：全ての物質は動いている 佐々木けいし

会 期：2020年12月22日(火)～2021年1月23日(土) / 年末年始を除く 7:00～20:00

会 場：「らいらっく・ぎやらりい」(北海道銀行本店ビル1階)

出展者：佐々木けいし(金属細工師)

入場料：無料(ギャラリーの外からガラス越しの鑑賞)

内 容：年末年始を利用し、立体・空間造形を手掛ける芸術家による、施錠されたギャラリーを一つの展示ケースに見立てたインスタレーション作品展を開催した。

札幌市在住の佐々木けいし氏は金属を素材に作品を制作しており、今回は空間を存分に活用し、「原子の動き」をテーマとした大小様々な作品を並べ壮大なスケールの金属の世界を表現した。

CUBE 展は三密回避の観点からコロナ禍にも対応可能な展示方式で、作家にとって制作発表の機会が制限される中、活力あふれるインスタレーション展を開催することができた。また、鑑賞目的以外の来訪者も往来の度に目にする作品展示に足を留め、多くの道民が気軽に芸術に触れリフレッシュできる良い機会となった。

③ 【北海道銀行本店ロビー学生展】

北海道銀行本店ロビーにおいて、北海道で美術を学ぶ学生や高校美術部制の作品展を通年で開催した。(北海道銀行本支店との共催)

会 期：2020年4月～11月 / 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：札幌大谷大学、札幌武蔵野美術学院、星槎道都大学、北翔大学、北海道教育大学岩見沢校

入場料：無料

内 容：公募展受賞作品など各校の選抜作品を、公共の場ともいふべき銀行ロビーで展示し、より身近に道民が美術鑑賞を楽しむことができた。
道内で美術を学ぶ学生たちの創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

④ 【北海道銀行本店ロビー展 現在(いま)を見つめる眼】

北海道銀行本店ロビーにおいて、高文連北海道支部選抜の高校美術部生の作品展を開催した。(北海道銀行本支店との共催)

企画名：現在(いま)を見つめる眼 Vol.15 ～全国にはばたく北海道の高校生たち

会 期：2021年1月4日(月)～3月31日(水) / 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：北海道札幌手稲高等学校(美術部)他、道内高等学校計10校

入場料：無料

内 容：2021年度高文連全国高等学校総合文化祭美術工芸部門推薦の平面作品10点を展示し、多くの道民が高校生作品の芸術性の高さに感動した。
美術部生徒の創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。
例年通り、出展10作品には特注額を贈呈した。

⑤ 【北海道銀行支店ロビー展】

北海道銀行支店ロビーにおいて、近隣の高校美術部生の作品展を開催した。
(北海道銀行各支店との共催)

会 期：通年 / 平日9:00～15:00

会 場：北海道銀行宮の森パーソナル支店、屯田パーソナル支店、旭ヶ丘支店、中央支店(1月より白石支店)(以上札幌市)、大麻支店(江別市)、岩内支店(岩内町)

出展校：札幌西高等学校、札幌北陵高等学校、市立札幌旭丘高等学校、札幌啓成高等学校、大麻高等学校、江別高等学校、岩内高等学校

入場料：無料

内 容：各校美術部生徒の作品1～2点ずつを概ね1か月ごとに作品を入れ替えながら展示し、多くの地域住民が地元の高校生の感性豊かな作品を鑑賞した。
鑑賞者にとっては、新しい作品を楽しみに来店し、美術部生徒も展示を目標に意欲を持って取り組み、創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため展示入れ替えのサイクルを減らして展示を継続した。
なお、中央支店(札幌市)が移転したことから、白石支店(札幌市)に会場を提供してもらい継続している。

⑥ 【道銀文化財団アーティストファイル】

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「らいらっく・ぎやらしい」では利用予定者からキャンセルの申し出が続いた。このことから、一般利用者のキャンセル期間に、道銀芸術文化奨励賞美術部門受賞者による絵画展をCUBE展方式で2回開催した。(主催)

(あ) 企画名：會田千夏展「haruco」

会 期：2020年7月～8月の4週間 照明点灯時間 7:00～20:00

出展者：會田千夏（2010年度 第20回奨励賞受賞者）

(い) 企画名：井桁雅臣展「みるみるあふれ はらはらこぼれ」、「青い、青い実」

会 期：2020年10月～12月の6週間 照明点灯時間 7:00～20:00

出展者：井桁雅臣（2011年度 第21回奨励賞受賞者）

(共通) 会 場：「らいらっく・ぎやらりい」（北海道銀行本店ビル1階）

入場料：無料（ギャラリーの外からガラス越しの鑑賞）

内 容：コロナ禍においても対応可能な CUBE 展方式により奨励賞美術家に発表の機会を提供し、道民にも気軽に安心して芸術鑑賞を楽しむための企画展を開催した。

(2) 助成事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(定款第4条第4項)

	事業収入なし
助成事業支出(予算)	2,280,000円
助成事業支出(実績)	1,083,062円
*うち助成金	1,007,070円

北海道を拠点に活動する芸術家や芸術文化団体を対象に、その優れた芸術創作活動を支援するために「道銀芸術文化助成金」を交付した。

また、当年度については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止・延期した先に対し、すでに事業費用の支出が発生したものについては助成金額を上限に助成金を交付した。

さらに、次年度以降同様の内容で申請があった場合は優先して選考することとした。

A 2020年度 助成事業

助成対象先 38 件中 21 件に助成金を交付した。

- ・1件は申請者の都合で辞退した。
- ・14件は開催した。
- ・23件は中止または延期した。このうち7件は一部または全額助成金を交付した。

B 2021年度 助成事業

公募・選考を行い、対象事業を2020年度第3回理事会で決定した。

公 募：2020年10月25日～12月25日

選考委員会：2021年1月27日（水）北海道銀行本店ビルにて開催

前川公美夫（選考委員長）、八木幸三、

國松明日香（選考副委員長）、柴勤（以上4名）

応募総数：50件（音楽部門31件、美術部門19件）

選考の結果：候補者40件（音楽部門27件、美術部門13件）を選出し、決定した。

(3) 奨励事業—芸術文化に関する優れた活動を行うものに対する顕彰
(定款第4条第2項)

	事業収入なし
奨励事業支出(予算)	1,180,000円
奨励事業支出(実績)	1,164,741円
＊うち賞金	1,000,000円

優れた芸術文化活動により将来を嘱望され、北海道の芸術文化の進展に貢献する芸術家に対して「道銀芸術文化奨励賞」を贈呈し、賞金を授与した。

A 2020年度 第30回 道銀芸術文化奨励賞 選考委員会

開催日：2020年10月14日(水)

会場：北海道銀行本店ビルにて開催

出席：前川公美夫(選考委員長)、柴勤(選考副委員長)、
本堂知彦、八木幸三、久米淳之、佐藤康平

B 2020年度 第30回 道銀芸術文化奨励賞 贈呈式

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から来賓、来客にご遠慮いただき、受賞者とその身内のみで挙行了した。

選考委員を代表して前川公美夫委員長に出席いただいた。

北海道環境生活部文化局長成田正行様より祝辞をお届けいただいた。

開催日：2021年2月10日(火)

会場：北海道銀行本店ビル会議室

受賞者：音楽部門 徳田貴子(ピアノ)

美術部門 クスミエリカ(デジタルコラージュ)

1名につき表彰楯と賞金50万円を授与した。

その他：音楽部門受賞者は2021年5月27日開催の「第35回 道銀ライラックコンサート」にて札幌交響楽団と共演予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催が中止となった。

美術部門受賞者はギャラリー事業として当財団「らいらつく・ぎやらりい」にて受賞記念展を開催した。(後記参照)

(4) ギャラリー事業—芸術文化に関する創作発表と鑑賞機会提供のための施設の管理運営
(定款第4条第3項)

ギャラリー事業収入(予算)	896,000円
ギャラリー事業収入(実績)	422,000円
ギャラリー事業支出(予算)	330,000円
ギャラリー事業支出(実績)	333,815円

北海道銀行から施設の無償貸与を受け、北海道銀行本店ビル1階の『らいらつく・ぎやらりい』と札幌駅前支店「道銀 ミニギャラリー」を運営した。いずれも新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、一部期間の利用を出展者からの申し出により中止した。

なお、特例として新型コロナウイルス感染が沈静化するまで、直前のキャンセルでもキャンセル料を免除している。

A 「らいらっく・ぎやらりい」

① 一般利用者への貸し出し

一般利用者からの予約を先着にて受付け、23 週の個展、グループ展等へ貸出した。

② 道銀芸術文化奨励賞受賞記念展

道銀芸術文化奨励賞受賞を記念して、主催により企画展を開催した。

企画名：第 30 回 道銀芸術文化奨励賞受賞記念 クスミエリカ展

会 期：2021 年 2 月 9 日(火)～2 月 21 日(日) 10:00～18:00

内 容：VOCA 展（東京）出品作品をはじめ最新作を展示した。

デジタルコラージュの作品展は美術の分野でもまだ珍しく、美術愛好家のみならず広く多くの鑑賞者が訪れ新たな感動を共有した。また、作家にとっても多くの鑑賞者との新しい出会いは、今後の創作発表活動へつながる貴重な機会となった。

入場料：無料

入場数：686 名

B 札幌駅前支店「道銀 ミニギャラリー」

① 一般利用者への貸し出し

一般利用者からの予約を先着順にて受付け、10 週の個展、グループ展等へ貸出した。

2021 年 1 月以降の利用については有料（14,000 円/2 週間）に取り扱いを変更している。

2 「その他事業」（他 1）の実施状況

連携支援事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業 （定款第 4 条第 4 項）

	事業収入なし
連携支援事業支出(予算)	300,000 円
連携支援事業支出(実績)	500,000 円

道内各分野の芸術文化団体の活動を支援するために、その主催する事業に対し協力した。

当年度は公益財団法人札幌交響楽団の演奏活動を支援し、寄附及び協賛をした。

また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により同楽団の運営が困難を極めたことから、追加支援を行った。

2020 年 4 月 「パトロネージュ会員」年会費として 200,000 円

7 月 追加支援として 200,000 円

2020 年 12 月 「新進演奏家育成プロジェクト」協賛金として 100,000 円

3 事務局の管理・運営（法人会計）の実施状況

	事業収入なし
管理費支出(予算)	1,230,000 円
管理費支出(実績)	1,169,472 円

① 財団事務局の管理運営

各事業の実施に向けた事務局の管理運営を行った。

② 公式ホームページの全面リニューアル

スマートフォン対応画面やデータ容量の拡大や通信速度の進化、データ更新の利便性に対応するためなど、システムを全面リニューアルした。多くの更新作業を事務局で行うことができ、タイムリーな情報発信やリンク先SNSへの接続も可能となり、有効に機能している。また、今後のランニングコスト削減にもつながった。

③ 「北海道銀行創立70周年・当財団創立30周年記念パネル展」を開催

札幌駅前支店「道銀 ミニギャラリー」のキャンセル休館の期間を利用して、北海道の芸術文化と共に歩んだ銀行と財団の歴史や近年の事業を紹介するパネルを制作し展示した。

なお、事業の内容から公益事業ではなく、法人会計内の事業とすることとした。

4 2020年度収支決算 (2021年3月31日現在)

(単位：千円)

	予 算	決 算	備 考
収入合計	6, 2 1 7	5, 8 8 3	
(公1) 事業費支出	6, 0 1 5	3, 3 9 4	
(他1) 事業費支出	3 0 0	5 0 0	
法人会計支出	1, 2 3 0	1, 1 6 9	
支出合計	7, 5 4 5	5, 0 6 3	
当期収支差額	△1, 3 2 8	8 2 0	

※ 2020年度末資産

(単位：千円)

	予 算	決 算	備 考
前期繰越金	3 3 6, 6 3 0	3 3 6, 6 3 0	
現金預金	4, 9 4 4	4, 9 4 4	普通預金
特定資産	4, 1 3 0	4, 1 3 0	定期預金 (公益事業活動資産)
特定資産	1 0, 0 0 0	1 0, 0 0 0	定期預金 (鑑賞会事業活動資産)
基本財産	3 1 7, 5 5 6	3 1 7, 5 5 6	投資有価証券・定期預金
次期繰越金	3 3 5, 3 0 2	3 3 6, 6 1 7	
現金預金	3, 6 1 6	5, 8 0 1	普通預金(前受金 42,000 円を含む)
特定資産	4, 1 3 0	4, 1 3 0	定期預金 (公益事業活動資産)
特定資産	1 0, 0 0 0	1 0, 0 0 5	定期預金 (鑑賞会事業活動資産)
基本財産	3 1 7, 5 5 6	3 1 6, 6 8 1	投資有価証券・定期預金

* 予算に記載した次期繰越金の基本財産額は、前期繰越金から変動のないものとして表示する。

* 決算に記載した次期繰越金の基本財産額は、決算日の市場価格に基づく時価法により算出している。